

## 令和6年度子育て・子育てワイワイプラン事業評価についての意見

担当課の自己評価及びワイワイトークでの「子どもの評価」を踏まえた専門部会員の意見をまとめた。

### <児童館・児童センターについて>

- ・主体的な参加という観点から、アンケート調査や中高生委員の意見を聞きつつ進めている点が素晴らしいと考えます。
- ・子ども会議でも意見として多かったボール遊びの場所について、放課後の学校施設（校庭開放）で調整をしたとのことで特に意見を出した子どもたちが充実感を感じていると思う。
- ・中高生主体のイベントはネットで検索するとすぐにみることができ、様子が伺えた。児童館まつりのボランティアに参加していた中学生が、近隣の団地やコミュニティーセンターのまつりにもボランティアとして参加しており、児童館だけで終わらず地域に根付いている様子がここ数年見られており、地域の大人と多く顔見知りになっていることを実感できている。
- ・事業の評価、子どもの視点での評価、子どもの評価という流れで書かれてまとめられていてわかりやすい。何箇所か、「イベント後にアンケートを実施し、意見を聴取した」という点について、どのような意見があったのか、ワイワイトークとの相違が気になるところである。
- ・「(2)子どもの視点での評価」において、「中高生が主体となってイベントの企画・立案を行った/工夫を話しあった」とあるが、具体的にはどのような企画立案があり、実現しているのかが分からない。次年度に向けての工夫についても、話し合った結果はどのように反映されるのか、その後の予定が分からない。
- ・地域によって利用する子どもの年齢層や傾向が異なるので、児童館ごとに利用のルールを見直して、ワイワイトークの意見を取り入れてもらいたい。おもちゃや塗り絵などへのリクエストにはなるべく早めに対応してあげると今後、子どもたちの声が拾いやすくなると思う。
- ・児童館と児童センターでの違いや児童館の中でのプログラムやルールの違いなどについても言及すべき。（中でジュースが飲めるかなどのルール、開館時間、施設の充実度など。）

### <公園について>

- ・子どもの主体的な参加について、若者が運営しての事業がないように見えるため、そこは改善点だと考えます。
- ・事業の評価、子どもの視点での評価、子どもの評価という流れで書かれてまとめられていてわかりやすい。子どもの評価で改善点として出てきた内容が今後、どのように検討してフィードバックできるのかと感じた。
- ・ワイワイトークで固定遊具の点検を行う時は市民に意見を確認して欲しいとあったが、新設する際にも平日に利用する子どもや休日に利用する親子などに意見をきいて反映できると良い。
- ・常時、子どもの声を聞く仕組みを作っていくべき。目安箱をおく、インターネット上に書き込めるようにするなど。遊具の壊れについては書き込めるようであるが、要望などが書き込め

るようにはなっていないのではないかと考える。

- ・「子どもが多く参加した事業を継続的に実施」とあるが、具体的にはどのような事業なのか。また「子どもが多く参加した事業」とあるが、その事業は本当に子どもが求めている事業なのか(ほかに選びようがないから参加しているのかもしれない)。これらをどのように評価しようとしているのか。

### <公民館について>

- ・幅広い年齢層へのアプローチができており、2つの目標は順調に達成していると考えます。
- ・さっそく Wi-Fi の設置がされたことで利用者の多くが便利になったと思われる。
- ・事業の評価、子どもの視点での評価、子どもの評価という流れで書かれてまとめられていてわかりやすい。
- ・文化や芸術に触れる事業も多く、ボッチャなどを通して障がい児も健常児同じ時間を過ごせるような企画があると良いと思う。
- ・改善点にあった、「講座に参加しづらいので、学校でも宣伝してほしい」、「公民館という名前を変えてほしい」「公民館をいう名前を変えるアンケートをしたら良いと思う」などの意見に対するフィードバックをどのようにしていくのか、子どもたちも意見を伝え、話し合える場所を作ることができるのか気になる。
- ・公民館と言う名前を変えるという子どもの意見があったが、「みんなのこうみんかん」など、子どもや中高生も利用しやすいように、いこいーなのイラストを添えた看板を付けるなど工夫してみてはどうかと思う。
- ・公民館がこどもたちも使える場所であるということをもっと告知すべき。学習スペースもほとんどの公民館に設置されているようであるが周知が十分にされていないのが問題だと感じる。
- ・Wi-Fi 設置によって利用者が増えたとあるが、具体的に何人増えたのか。数字で評価できる部分は記載して欲しい。

### <図書館について>

- ・イベントが多く開催されており、現状の目標は概ね達成できていると考えます。
- ・本の検索について、「困ったことはない」という意見と「探しにくい」という意見の両方があるため、低年齢層向けの検索UI（ユーザーインターフェース）※を整備する事業計画が必要と考えます。
- ・様々な意見があるが、図書館でどのようにフィードバックをし、今後子どもたちが意見を伝えられ、話し合えて検討できる場所が図書館にできるのかが考えられていくと、子どもの意見も図書館に反映できるのではないかなと思う。
- ・CATCH の企画など素晴らしい企画があることを初めて知り、ネットで検索して読んでみたがとてもよくできていた。編集に関わった中高生にとってはみんなで作り上げるという達成感を持つ経験になったと思う。
- ・図書館のイベントは参加者も多く、夏休み中のイベントは子どもたちの居場所にもなってい

ると感じた。中学生によるオススメ図書の企画も図書館の利用に繋がるので、各図書館で周辺中学生とコラボできると良いと思う。また、中学生による、幼児への読み聞かせなど交流が図れると良いと思った。

- ・常時、子どもの声を聞く仕組みを作っていくべき。目安箱の設置や掲示板などに子どもたちが自由に意見を書き込めるような仕組みを作れるのではないか。ネット予約や自習スペース、飲食スペース（図書館の隣の公民館で）などはすでに行っているのに周知が十分ではないのが問題だと感じる。図書館ごとに休館日をずらす、いろんな学校の展示をするなど、実施可能な提案も多いので、ぜひ子どもたちからの提案を生かしてほしい。
- ・子ども視点①が「なし」となっている理由を示してほしい。

#### ※検索ユーザーインターフェース

ユーザーが情報を検索する際に利用するインターフェース（操作画面や機能）を指す。